

～消費税率引き上げをチャンスに変える!～

建設業・建設関連製造業向け

駆け込み需要を取り込むためのセミナー



講演内容

- 消費税率引き上げにおける駆け込み需要を振り返る
 - 3%→5%→8%引き上げ時の着工数の推移を振り返る
 - 多様化するキャッシュレス化の波
 - 契約予定の時期に見る顧客の住宅へのニーズの違い
- 消費税率10%引き上げ前と後のそれぞれの営業手法
 - 消費税転嫁対策を上手く使う
 - 引上げ後もチャンスあり
- 2020年「省エネ基準適合住宅の義務化」延期はチャンス
 - 私たちに必要な知識と技術（リフォーム分野にも）
 - HEMSを学ぼう
- 新築やリフォームにおける最新の助成・補助を知っておく
 - 所得の住宅ローン減税・贈与税非課税枠拡大
 - 新築・リフォーム時の各制度
- 複数の制度（助成・補助金）を利用したリフォーム事例紹介
 - 介護保険法・耐震改修・省エネ・バリアフリー
 - 同時に使える制度と使えない制度を知っておく

消費税制度が導入されてから今回で4回目の税率引き上げになりますが、住宅分野は消費者にとって金額が一番大きな出費になります。助成・補助金制度は建設業や建設関連製造業の皆様にとっても重要な役割を担っております。

2020年は「省エネ基準適合住宅の義務化」が予定されておりましたが昨年末の国交省発表により延期になりました。実際に施行されていたらどれだけの方が対応できていたでしょうか。

消費税率引き上げ前に最新の助成・補助制度を学びながら、皆様の新築・リフォーム事業のこれからの方針を考えるタイミングとして是非ご参加くださいませ。

講師プロフィール

(さいとう しんいち)

齋藤 進一氏



1967年埼玉県生まれ。「やすらぎ介護福祉設計」代表。
介護福祉分野を得意とする一級建築士。

大学卒業後、大手ゼネコンで施工管理を経験し、ハウスメーカー系工務店で設計・施工を経験する。介護福祉の需要が多いのにも関わらず、専門とする建築士がほとんどいないことに気づき、2004年「ワンストップ型介護福祉建築設計事務所」を創業し今に至る。木造からSRC造までの設計・施工経験を活かし、高齢者・障害者のバリアフリー住宅をはじめ、ユニバーサルデザイン視点で住みやすい住宅づくりに定評がある。地域密着型「かかりつけ建築士」制度の全国展開を思案中。

<著者・その他>

読売新聞 コラム「知っておきたい老人ホームの選び方（19、20）、2006/1より専門家プロフィールの自身のページで数々のコラムやQ&Aに答えている

日時

令和元年6月13日（木）

14時～16時まで

場所

佐賀商工ビル7階中会議室D・E

※当ビル提携駐車場をご利用下さい。終了後に無料駐車券を呈呈致します。

参加

無料（定員：30名）

右の申込欄にご記入の上、FAX（0952-26-2831）にてお申込下さい。

【事業所名】

【所在地】

【参加者名】

【参加者名】

【ご連絡先】

お申込・お問い合わせ先

佐賀商工会議所 TEL：0952-24-5155 FAX：0952-26-2831 担当：小寺・市田